

Slovenia Monthly July 2016 vol.2-no.7

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2016年8月5日



～7月の主なポイント～

- 政治**：ムラモル財相、一身上の都合を理由に辞任を表明。
ツェラル首相、西バルカン会議に参加し、EUの東方拡大の継続を主張。
プーチン大統領がスロベニアを訪問し、100周年となるロシア兵捕虜追悼式典に出席。
- 経済**：コペル港湾会社従業員が5日間にわたって港入り口を封鎖し、貨物輸送に遅延が発生。
パナソニック社がゴレニェ社に対するデュー・デリジェンスを開始。
- 軍事**：ツェラル首相、NATOワルシャワ首脳会合に出席。
- 治安**：国家安全保障理事会が開催され、スロベニアの治安脅威レベルは依然低いとの見方。
- 社会**：スロベニア赤十字が設立150周年を迎え、記念式典が開催。

政治

【内政】

●エリヤヴェツ外相の辞表提出とツェラル首相による不受理【1日・5日】

1日、エリヤヴェツ外相は、6月30日に仲裁裁判所がスロベニア・クロアチア国境画定仲裁裁判の審理継続を決定した後に会見し、仲裁裁判プロセスを複雑化した責任があるとして、ツェラル首相に辞任の意志を伝えた旨発表した。

5日、ツェラル首相は、仲裁裁判プロセスが継続していることを考慮し、同外相には本問題に対する直接的な責任はないとして同外相の辞任の申し出を退けた。

●英国のEU離脱に関する主要政党党首会合の開催【5日】

パホル大統領の主催により、英国のEU離脱の国民投票結果を受けたスロベニアの方針を協議するため、主要政党党首会合が開催された。野党左派連合(ZL)を除く主要政党の代表は、スロベニアがEUの発展のために積極的な立場で望み、EU圏内における中枢を占める国としての地位を維持するために、政党間の意見を調整していくとの考えで一致した。

パホル大統領は、スロベニアは小国だが我々の利益となるように影響力を行使していかなければならず、シェンゲン圏及びユーロ圏内での役割を強化していく旨述べた。

●ムラモル財相の辞任【13日】

ムラモル財相が一身上の都合を理由に辞任を表明し、スメルコル開発・戦略事業・結束担当大臣が一時的に財相の業務を代行することとなった。

ツェラル首相は、公共財政や経済状況の安定化等の同財相の素晴らしい業績と努力に謝意を述べた。また同首相は、ムラモル財相の辞任後も政府の方針に変わりはなく、後任については8月末または9月初旬に新大臣が業務を引き継げるよう8月中に候補者を発表したい旨述べた。

【外政】

●ツェラル首相の西バルカン会議出席【4日】

ツェラル首相はパリで開催された第3回西バルカン会議に出席し、記者団に対し、英国のEU離脱如何にかかわらずEUの東方拡大は継続すべきであり、加盟を目指す国々は全ての加盟必要条件を満たすため改革を続けていかねばならない旨述べた。また同首相は、西バルカン諸国は多くの面で脆弱で関係が急速に悪化するおそれもあることから、EUと西バ

ルカン諸国間の対話・協力は一層強化されるべきであるとの考えを示した。

●ツェラル首相とオランド・フランス大統領の会談【4日】

ツェラル首相はオランド・フランス大統領と会談し、英国のEU離脱の国民投票結果を受け、将来のEUは強力で連帯感を持ち、未来志向であるべきとの考えで一致した。また両者は、欧州の治安情勢及び移民問題についても意見交換を行い、ツェラル首相は、これらの問題は欧州の市民の自由、特に人権尊重という側面にも配慮した上で対処しなければならないとの考えを示した。また両者は、難民・移民問題について、不法移民の流れは管理され、EU加盟国とEU域外との国境で流入を阻止すべきであるとし、難民・移民発生の原因となっている根本的な問題にも対処しなければならないとの考えで一致した。

●ツェラル首相のASEM首脳会合出席【15日】

ツェラル首相は、モンゴルのウランバートルで開催されたASEM首脳会合に出席し、森林管理分野におけるスロベニアの高度な専門性を強調した。同首相は、昨年5月にASEM枠組みでスロベニアと中国の共催で行われた持続的な森林管理に関する会合について触れ、本分野での継続した協力が必要であるとし、次回会合のアジア地域における開催を提案した。



(写真: スロベニア政府HP)

●トルコでのクーデター未遂に対するスロベニア要人の反応【16～18日】

16日、エリヤヴェツ外相は、トルコでのクーデター未遂について哀悼の意を表明し、本事件はトルコが地域の大国でありNATO内で2番目の軍事規模を有することに鑑みると、深刻な安全保障上の脅威である旨述べた。更に同外相は18日、トルコがEU加盟

を目指す努力を継続することに期待を表明した。

またツェラル首相も16日に本事件の犠牲者に哀悼の意を表明し、18日にはパホル大統領がトルコ政府を支持する一方で、平和と安定のために民主的に選ばれた政府が本事件を受けて過度に権力を行使しないことが重要である旨述べた。

●マルグヴェラシヴィリ・ジョージア大統領のスロベニア訪問【18日・19日】

マルグヴェラシヴィリ・ジョージア大統領がスロベニアを公式訪問した。パホル大統領は、18日に行われたマルグヴェラシヴィリ大統領との会談の中で良好な二国間関係を評価し、ジョージアとEUとの関係について7月に発効したEU連合協定の重要性を強調した。また両大統領は、経済協力に関する合意及び公用旅券保有者の査証免除に関する合意に署名した。19日、マルグヴェラシヴィリ大統領はツェラル首相と会談を行い、二国間関係や様々な分野での協力につき協議した。また欧州を含む地域情勢についても意見交換を行い、ツェラル首相はジョージアのEU加盟に向けた努力を支援する旨約束した。

●プレウネリエフ・ブルガリア大統領のスロベニア訪問【25日】

パホル大統領はスロベニアを訪問したプレウネリエフ大統領と会談を行い、両大統領はきわめて良好な二国間関係を評価し、経済分野を中心とする更なる協力を要請した。両大統領は、地域情勢やEU情勢についても協議し、経済や移民問題のだけでなく治安分野も含む現在の課題を克服するためには強いEU機関が非常に重要であるとの点で一致した。

プレウネリエフ大統領はツェラル首相とワーキングランチを行い、現在EUはバルカン地域との安定した関係を必要としており、安全保障を中心とする現在の課題に対するEU共通の解決策が見つけられねばならないとの点で一致した。

●プーチン・ロシア大統領のスロベニア訪問【30日】

プーチン・ロシア大統領はスロベニアを訪問し、ヴルシツ峠で開催されたロシア兵捕虜追悼100周年式典、リュブリャナ市内でのロシア・ソ連兵慰霊モニュメント除幕式に出席し、その後ブルドー城でパホル大統領と会談を行い、同大統領主催夕食会に参加した。

プーチン大統領は追悼式典にて、ヴルシツ峠のロシア礼拝堂は平和と繁栄をともに希求するロシアとスロベニアの友好関係の象徴であると述べ、1世

紀にわたり礼拝堂と戦争犠牲者の記憶を守り続けてきた何世代にもわたるスロベニア人への感謝を表明した。

パホル大統領は、今回の訪問はスロベニア・ロシア間の友好関係を可能な限り保つために役立つものとなったと述べ、これに対しプーチン大統領は、ロシア・スロベニア関係全般に加え、ロシアとEU及びNATOとの関係や経済関係の発展について議論する機会を持つことができたと述べた。

スロベニアに迫る！②

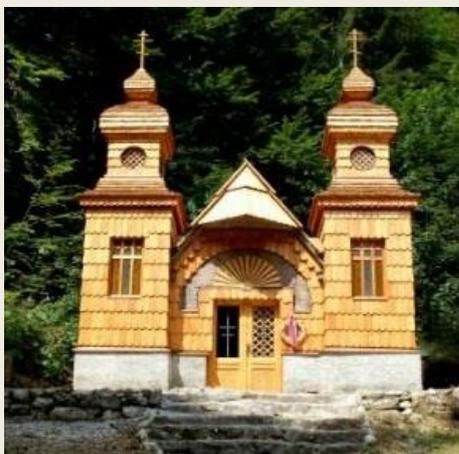
ヴルシッチ峠のロシア礼拝堂

スロベニア北西部ヴルシッチ峠には、第一次大戦時に亡くなったロシア兵捕虜を慰霊するロシア礼拝堂があります。

1915年、この地域を支配していたオーストリア軍は補給ルート確保のため軍事用道路の建設を決め、労働力不足のためロシア兵捕虜を強制的に働かせました。しかし、1916年3月、急斜面で大規模な雪崩が発生し、多くの人々がのみ込まれました。正確な犠牲者数は分かっていませんが、約170～300人のロシア人捕虜と10～70人のオーストリア軍兵士が亡くなったと言われています。

その後同年11月に、ロシア兵捕虜により記念碑としロシア様式の礼拝堂が建てられました。教会は木造で、両側にロシアでよく見られるバロック様式の円屋根を持つ小さな2つの塔があります。雪崩の犠牲者は、礼拝堂の隣にある小さな墓地に埋葬されています。

この礼拝堂では毎年犠牲者を追悼する式典が行われ、ロシア人司祭のほかスロベニアやロシアから代表団が出席しています。昨年はメドヴェージェフ・ロシア首相が出席し、100周年となる今年はプーチン大統領が出席しました。



(写真:スロベニア観光局)

経済

●コペル港の入口封鎖による貨物輸送の遅延【1～5日】

1日、コペル港湾会社の主要株主である「スロベニア国家ホールディング(SSH)」が提案する港湾会社監査役員3名の更迭に反対し、同社従業員約200名が内陸部からの同港の入口を重機で封鎖し、港湾施設へのアクセスに支障が生じる事態が発生した。

2日、同社従業員組合がツェラル首相との直接対話とガシュペルシッチ・インフラ大臣の辞任を求めたのに対し、同首相は同港の封鎖は絶対に受け入れられるものではないとして直接対話を拒否したため、従業員組合側は同港入口の封鎖を継続した。

5日、コペル港湾会社経営陣及び監査役会と労働組合との交渉の結果、午前10時を以て入口の封鎖を解除することで合意し、同港を通過する貨物輸送に重大な遅延をもたらした5日間にわたる封鎖が終了した。

●ラシュコとユニオン・ビールの正式合併【1日】

スロベニアの2大ビール醸造会社である「ラシュコ・ビール(Pivovarna Lasko)」と「ユニオン・ビール(Pivovarna Union)」が正式に合併した。新会社名は「ラシュコ・ユニオン・ビール」で、リュブリャナに本社が置かれる。両社は2015年4月までにビール会社大手ハイネケン(Heineken)に買収され、合併に向けた手続きが進められていた。なお、ラシュコとユニオンの銘柄は今後もともに継続される。

●中国農業部副部長の訪問【4日・5日】

Xiaohua 中国農業部副部長率いる代表団がスロベニアを訪問した。同副部長はジダン農林食糧相と会談を行い、両者は魚、鶏肉、豚肉及び蜂蜜の輸出の可能性について意見交換を行った。ジダン農相は両国間の経済協力は徐々に進んでいると評価し、これに対し Xiaohua 副部長は、スロベニアは高い品質の環境基準を満たした食品を製造しており、大きな潜在性がある旨述べた。

●パナソニック社によるゴレニェ社のデュー・デリジェンス開始【26日】

家電製造企業であるゴレニェ(Gorenje)社は、パナソニック社が同社に対するデュー・デリジェンス(資産価値等の精査)を開始した旨明らかにした。パナソニック社はゴレニェ社と2013年に戦略的提携協定を

結び、同社株式の10.74%を所有している。ゴレニエ社は、本調査は9月下旬まで続き、現段階ではいかなる決定も下されておらず、パナソニック社の株式保有比率の上昇につながるか等は調査結果次第であるとした。

●ティッシュ・メーカー「パロマ」社の資金増強承認【29日】

民営化対象企業であるティッシュ・メーカーの「パロマ(Paloma)」社は、スロバキアの投資ファンドである「Eco Invest」社を主体とする1820万ユーロの資本増強を行うことを承認した。同社は本年10月中旬までに同額を支払えばパロマ社の株式の57%を保有することとなる。

スロベニアに迫る！②

統計から見るスロベニア独立25周年

6月26日にスロベニアは独立25周年を迎えましたが、日刊デロ紙はこの25周年を統計で振り返る記事を掲載しました。

25年間でGDPは約4倍となり(一人あたりGDPは約3.7倍)、法人数も約5.5倍に増加しました。またスロベニアを訪れる観光客数も約2.8倍となっています。

経済分野で大きな躍進を記録した一方で、平均寿命の上昇に伴う高齢化が進行しています。全人口に占める65歳以上の高齢者の割合は独立時から7.4%上昇して18.4%となり、年金の財源確保などが課題となっています。

項目	1991年	2016年
人口(人)	1,999,945	2,064,188
出生率	1.42	1.52(2014)
平均寿命(女性/男性)	77.5 / 69.5 歳	83.5 / 78 歳
平均年齢	36 歳	43 歳
高齢者(65歳以上)比率	11%	18.4%
GDP(名目、百万ユーロ)	10,271	39,598
一人あたりGDP(ユーロ)	5,131	19,158
平均純月収(ユーロ)	43	1,021
インフレ率	341%	-0.5%(2015)
法人数	13,309	72,204
輸出額(百万ユーロ)	5,147	23,942
観光客数(人)	1,425,000	3,928,000
高速道路距離	128 km	610 km

(出典: デロ(Delo)紙)

軍事

●ツェラル首相のNATOワルシャワ首脳会合出席【8日・9日】

ツェラル首相はワルシャワで開催されたNATO首脳会合に出席し、会合後、NATOは新たな世界的な脅威に対処してきており、加盟国はサイバー攻撃、テロリズム及び大量の移民流入といった課題に対して結束して取り組んでいる旨述べた。同首相は、NATOは加盟国やその国民の安全を保障するビジョンを持ち、組織と財政の両面で再び強力な同盟になりつつあり、世界の平和と安定に重要な役割を果たしている旨強調した。

また同首相は、スロベニア政府は軍事支出の減少傾向をやめ、国防や軍備に充てる予算は再び増加している旨述べた。

治安

●国家安全保障理事会の開催【27日】

ツェラル首相の呼びかけにより国家安全保障理事会が開催され、同首相は会合後、スロベニアの情勢は通常であり、治安脅威レベルも依然として低いが、近隣諸国や欧州全体での出来事を考慮すると、状況を注視し警戒する必要があることは明らかである旨述べた。

また同首相は、具体的な対策について問われ、対策は治安状況に対応してとられ、具体的な対策を明らかにすることは適切でないが、昨年の難民流入対策として導入された施策を必要に応じて行うことも選択肢としてであると述べた。

社会・文化・スポーツ

●スロベニア赤十字、設立150周年【1日】

スロベニア赤十字設立150周年式典にパホル大統領が出席し、ボランティアの人々を「スロベニア社会の真の財産」であるとたたえ、ケベル会長に感謝の意を示すスロベニア国旗が授与された。

スロベニア赤十字の起源は1866年にリュブリャナ市で2つの軍事看護師団体が設立したことに由来し、1944年6月18日に正式に設立された。現在では12の地域団体、56の地方市民団体の約1万4000人のボランティアより構成され、応急処置や献血、食糧供給などの分野で活動するスロベニア最大の慈善団体となっている。

スロベニアに迫る！②⑥

スロベニアのリオ五輪選手団

いよいよ開幕するリオ五輪には、スロベニアより陸上、柔道、カヤック、カヌー、セーリングなど15種目に初出場35名を含む60名の選手が出場します。スロベニアは2004年のアテネ五輪以降、各大会で4～5つのメダルを獲得しています。前回のロンドン五輪では柔道女子のウルシュカ・ジョルニル(Urška Žolnir)選手の金メダルをはじめ、ハンマー投げで銀メダル、ボートと射撃でそれぞれ銅メダルに輝き、計4つのメダルを獲得しました。スロベニアはウィンタースポーツのイメージが強いですが、人口1人あたりの夏季五輪メダル獲得数で世界上位6カ国に入ります。

リオ五輪での注目選手は柔道女子63キロ級のティナ・トゥルステニャク(Tina Trstenjak)選手で、欧州選手権や世界選手権で優勝しています。また男子73キロ級のロク・ドラクシッチ(Rok Drakšič)選手も欧州選手権でメダルを獲得しています。



ティナ・トゥルステニャク選手 (写真: judoinside.com)

また、世界選手権で三度の優勝経験があるカヤックのペテル・カウゼル(Peter Kauzer)選手、同じく世界選手権で過去に3つのメダルを獲得しているカヌーのベンジャミン・サウシェク(Benjamin Savšek)選手にもメダル獲得の期待がかかります。

セーリングもスロベニアの得意競技のひとつと言われており、今大会出場選手の中でスロベニア唯一の五輪メダリストであるベテラン、ヴァシリ・ジュボガル(Vasilij Žbogar)選手がリオで3つ目となるメダルを目指します。

団体競技では唯一、男子ハンドボールチームが出場します。

ガブロヴェツ・スロベニア五輪委員会会長は、今大会で6つのメダル獲得が可能と予想していて、若い選手や五輪初出場となる選手の活躍に期待を示しています。

リオ五輪スロベニア選手団(スロベニア五輪委員会)

陸上競技

ルカ・ヤネジッチ(男子400m)、ジャン・エウドルフ(男子800m)、ロベルト・レンナー(男子棒高跳び)、アントン・コスマチ(男子マラソン)、マヤ・ミハリネツ(女子200m)
サビナ・ベイト(女子200m)、ダネヤ・グランドヴェツ(女子マラソン)、マルシャ・チェルニユル(女子高跳び)
ティナ・シュテイ(女子棒高跳び)、マルティナ・ラテイ(女子やり投げ)

体操

テヤ・ベラク(女子跳馬)

セーリング

バシリ・ジュボガル(男子フィン級)
ティナ・ムラク、ヴェロニカ・マカロル(470級)

柔道

ティナ・トゥルステニャク(女子63kg級)、アナマリ・ヴェレンシェク(女子78kg級)、ロク・ドラクシッチ(男子73kg級)、ミハエル・ジガンク(男子90kg級)、アドリアン・ゴムボツ(男子66kg級)

カヌー、カヤック

ベンジャミン・サウシェク(男子カヌー)、ルカ・ボジッチ、サシヨ・タルヤト(男子カヌー・ダブル)、ウルシャ・クラゲリ(女子カヤック)、ペテル・カウゼル(男子カヤック)、シュペラ・パノマレンコ・ヤニッチ(女子カヤック)

自転車

マテイ・モホリッチ(男子ロード)、ヤン・ポランツ(男子ロード)、シモン・シュピラク(男子ロード)、プリモシュ・ログリチ(男子ロード、タイムトライアル)、ポロナ・バタゲリ(女子ロード)、タニャ・ジャケリ(女子クロスカントリー)

卓球

ボヤン・トキッチ(男子シングルス)

水泳

アニャ・クリナル(女子400mメドレー等)、トウヤシャ・オデル(女子800m自由形等)、ダミル・ドゥゴニチ(男子100m平泳ぎ)、アンジェ・タウチャル(男子100m自由形等)
トウヤシャ・ヴォゼル(女子100m平泳ぎ等)、マルティン・パウ(男子1500m自由形)、ロベルト・ジュボガル(男子200mバタフライ)、ヤニャ・シャゲル(女子4x200mリレー)、トウヤシャ・ピントル(女子4x200mリレー)、シュペラ・ペルシェ(女子10km遠泳)

男子ハンドボールチーム

射撃

ボスチャン・マチェク(男子トラップ)、M
ジヴァ・ドゥヴォルシャク(女子ライフル)

トライアスロン

マテヤ・シミツ(女子スプリント)

発見！スロベニア

スロベニアでの登山(Hiking in Slovenia)

スロベニアの北部に広がる山々、ユリアン・アルプス(Julian Alps)をスロベニア人は「サニー・アルプス(太陽の当たる側のアルプス)」と呼んで誇りにしています。自然豊かなスロベニアには国旗にも描かれているトリグラウ山(Triglav、標高2864m)をはじめ、2000m級の山々が多数そびえ立っています。冬にはウィンタースポーツを楽しむために国内外から多くの人を訪れますが、夏は登山でその雄大な自然を満喫することが出来ます。登山コースは山ほどありますので、

スロベニア観光局作成の冊子「Hiking in Slovenia」(https://issuu.com/slovenia/docs/sto_katalog_eng_web)をご参照ください。

今回はその中からデベラ・ペチ(Debela Peč)登山コースをご紹介します。デベラ・ペチは、首都リュブリャナから車で約1時間15分、ブレッド湖の北西、トリグラウ国立公園内に位置する標高2014mの山で、所要時間は片道約3時間の中級者向けコースです。



登山コースは広大な原っぱから始まります。牛がのびのびと飼育されており、夏場にはしぼりたての新鮮な牛乳からつくられたヨーグルトやチーズを近くの農家で購入することもできます。



(牧場に隣接する農業施設)

道のりの3分の2までは比較的なだらかな道が続き、道端に咲く高山植物を長めながら木々に囲まれたコースをのんびりと進むことができます。子供からお年寄りまで幅広い方々が山歩きを楽しんでいます。本格的な登山が始まる前に中継地点として山小屋があり、スープやソーセージなど軽い食事をとることができるので是非一休みしましょう。山で食べるご飯は格別ですし、小高い丘からゆっくりと美しい景色を眺めることもできます。



(休憩所となる山小屋)

山小屋から先は傾斜も急になり、岩肌が目立つやや険しい道になります。最初に訪れた牧場が下の方に小さく見えるようになり、頂上に着く頃には隣り合う山々の斜面が近くに感じられます。頂上まで登りきりましたら、360度の自然のパノラマと眼下に広がる谷を満喫ください。



(頂上付近からの景色)

在スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックが出来ました！

当館のフェイスブックでは、スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせやレポート、スロベニア事情等の情報を随時発信しております。「いいね！」ボタンで当ページのフォローをよろしくお願いします。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

【文化行事のお知らせ】

●日本の午後「Japonsko popoldne v Logatcu」

今年で3回目を迎える同行事では、日本の武道をはじめ、折り紙、着物、寿司や日本茶などの和食、書道等、様々な日本文化を紹介します。

日時: 9月4日(日) 13:00～(予定)

場所: ログアテツ・スポーツホール(Športna dvorana 住所: Šolska pot 4a、Logatec)

入場無料

●全日空チャーター便がスロベニアへ

8月上旬～9月上旬にかけて、全日本空輸とジェイティービー及びクラブツーリズムとの旅行企画によりスロベニアへのチャーター便(直行便)が運行されることになりました。リュブリャナ到着便は、8月6日・13日・27日、9月10日の各土曜日に計4本で、1回のフライトにつき、約300名～350名程度の旅行客を見込んでいます。また、各日とも到着時には空港の敷地内で歓迎セレモニーが開催され、スロベニアの民族衣装を着た方々が伝統的なスロベニアの民族音楽を演奏したり、ダンスを披露したりするなど、日本人のお客様を歓迎する催しが企画されています。

【領事からのお知らせ】

●スロベニアに90日以上滞在される方は、大使館に在留届を提出願います。

(※インターネットでの提出が便利です。→ <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)

●「たびレジ」をご利用ください！

「たびレジ」とは、海外に行かれる方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。海外旅行や海外出張をされる方は、是非登録してご活用下さい。

(詳細は、<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)

たびレジには「簡易登録」の機能もあります。これは、メールアドレスと国・地域を指定するだけで、対象国・地域の最新海外安全情報メールなどを入手できます(緊急時連絡を除く)。この「たびレジの簡易登録」も是非ご活用下さい。

(詳細は、<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)